



にいがた映画塾通信

第11号増刊
編集・発行
にいがた映画塾
〒950-0086
新潟市花園2-3-2 飛鳥ビル
電話・ファクス
025-248-9088

インディーズフェス開幕!

第5期作品を初上映

第四回目となる「あなたの映画見せてやれっ! にいがたインディーズ・ムービーフェスティバル」が十一月十二日、いよいよ開幕。同月十九日と合わせ二日間で四十一本の自主制作映像作品が上映されます。にいがた映画塾会員の県内作品のほか、東京、神奈川、北海道など全国各地からもエントリー。今年もマラソン上映会となりました。

初日の十二日は午後六時から十時ごろまで、新潟市古町四のイベントホール「ナイト」で第5期映画塾の卒業作品と、金「輝きもせず」の「一六三もんじゃやねえ」。

「第5期」の記録集完成

の汗と涙の記録集を十一月十九日発行します。A4判二十ページ。講義の模様のほか、にいがたシナリオ講座も紹介。同日のインディーズフェスティバルから配布します。

同誌は無料ですが、郵送希望の場合は、二百四十円分の切手を同封し、映画塾にその旨お知らせください。送り先、問い合わせはこの新聞巻末の連絡先へどうぞ。

られ続け、弱音を吐きながらも編集、録音など最終仕上げを二カ月以上かけ、やっと完成させた力作です。残念ながら、まだ音入れが完全でない作品もありましたが、舞台は「園楽」らしくえんじゅ

という九〇分のビデオ大作。「宇宙人もの」の映画を撮る監督の「自分探し」というストーリーで、映画塾の作品とは一味違つ粘りと映像感覚が印象的。舞台あいさつでは監督の嬉野智裕さんと主演男性も来訪、軽妙なトークで会場を和ませていました。ただ、第5期卒業生から半数以上の観客が帰ってしまい、招待作への礼儀を失ったことが残念でした。

第2弾に篠原監督も一般応募

第二弾は十九日(日)、新潟市市民映画館シネ・ウインドに会場を移し、午前十一時半から一般応募作品を上映します。なんと! 「月とキャベツ」の篠原哲雄監督からも応募が!

篠原さんが講師を務める東京の「enbuゼミ」の教え子たちの作品とともに上映します。一般応募作品は、過去の最高三十二本が集まりました。このため、終了時間は夜十一時十五分のもよし。興味と体力に

応募してお楽しみください。enbuゼミは、「演劇ブック」が主催する東京の映像・演劇講座、クリエーター組、役者組と二つに分かれ、三十六人が「夏のあるカッパルの情景」というお題で八月に撮影・編集をし、短編十六本を完成させました。篠原哲雄も忙しい中「すいか」「コインランドリー」という二本の短編を完成。受講生と作品バトルを繰り広げます。応募作品に先立ち、招待作品として、昨年のフェスで多くの観客を集めた大杉漣主演「黒いカナリア」完成版と、「スクールデイズ」を上映します。料金は当日千二百円。問い合わせは、にいがた映画塾内のインディーズムービーフェスティバル実行委員会へ。



にいがたインディーズムービーフェスティバル 11月19日(日)上映スケジュール

会場:新潟市市民映画館シネ・ウインド(印が映画塾関係) 各回終了後、監督舞台あいさつあり

招待作品
《1回戦》 11:30~12:40
大杉漣主演作品「黒いカナリア」田巻源太 15分 16mm 新潟市
今秋劇場公開作品/新潟プレミア上映「School Days~ボクはこんなだった~」石川浩之 40分 16mm 山形県

一般応募作品
《2回戦》 12:55~14:55
1.「バカは死ななきゃ治らない」(プラネット映画祭~夏の短編集~選出作品)山岡大祐 26分 ビデオ 東京都
2.「傷だらけの天使」よ永遠に」田口清隆 17分 ビデオ 東京都
3.「さざえのつば焼き」堀浩 25分 ビデオ 新潟市
4.「広の彼女/里美の彼氏」高山和男 13分 8mm 三重県
5.「存在と時間」和賀尚文 15分 ビデオ 新潟市
6.「断章・光・灰・零度」帯瀬利明 13分 ビデオ 新潟市

《3回戦》 15:10~17:20
7.「飛び出せわんぱく ゲームで勝負」木原大吾 20分 ビデオ 新潟市
8.「デニー3部作」鶴岡幸治 40分 ビデオ 東京都
9.「66」吉田健明 5分 ビデオ 中之島町
10.「ジャッキー」春藤陽太郎 11分 ビデオ 東京都
11.「BOULEVARD」田森潤也 30分 ビデオ 札幌市
12.「お目覚め」高橋秀樹 15分 ビデオ 巻町

《4回戦》 17:35~19:30
13.「fish a day」鈴木久美子 10分 ビデオ 千葉県
14.「まちあわせ」島田義弘 16分 ビデオ 神奈川県
15.「また 会う日まで」村井佐知 13分 ビデオ 東京都
16.「ゆびにペンき」荒木康文 13分 ビデオ 東京都
17.「duex roses」山本真優美 11分 ビデオ 東京都
篠原哲雄監督作品
18.「すいか」篠原哲雄 6分 ビデオ 東京都
19.「コインランドリー」篠原哲雄 6分 ビデオ 東京都
20.「CUT」中村靖日 30分 ビデオ 東京都

《5回戦》 19:45~21:55
21.「ダイアログ1999」(第16回あきる野映画祭フィルムコンテストグランプリ作品)井上朗子 38分 8mm 新潟市
22.「幻影」鈴木貴之 6分 ビデオ 新潟市
23.「ロベルト本間」藤木陽平 12分 ビデオ 新潟市
24.「FIGHT SCENE~完全版~」仲沢秀明 12分 ビデオ 札幌市
25.「のり子とトモ子」(いずみさのオフシアター映画祭2000入選)高橋のふ 19分 8mm 神奈川県
26.「月と花火~Fireworks」山川智子 30分 ビデオ 白根市

《6回戦》 22:10~23:45
27.「夜間散歩」加藤陽子 26分 8mm 新潟市
28.「光の射す方へ」金子正史 3分 ビデオ 燕市
29.「ぼくのために」大橋健一 5分 ビデオ 三条市
30.「最低傑作」真保蔵 20分 ビデオ 加茂市
31.「すみつぐの習作」野上純嗣 5分 8mm 長岡市
32.「狩る男 Forever2000」佐藤広一 25分 ビデオ 山形県

舞台あいさつする第5期監督ら

総会は来年1月13日

12月23日は大掃除・忘年会も

二〇〇一年度総会を来年一月十三日(土)、午後三時半から、新潟市万代市民会館で開きます。総会に先立ち、午後二時から第五期映画塾作品を上映。午後六時から新年会も行います。新世紀最初の総会です。

また、年末の十二月二十三日(祝)には、恒例の大掃除・忘年会も開催。今年一年間お世話になっ

た事務所に感謝するとともに、来年の夢を語り合いたいと思います。

映画塾は毎年一月一日から新年度が始まり、二〇〇〇年度は第五期映画塾開催をはじめ、より大がかりになった定期上映会(シネパン)と放送四十回を超えたラジオ番組「恒例のインディーズフェス、ビデオ制作受注、劇場用映画・ビデオクリップの制作協力など、充実した一年でした。

その一方で、会費収入や作品制作の減少など、将来に向けて不安な面も明らかになりました。

総会では、この二〇〇〇年を振り返るとともに、問題点は率直に反省して、映画塾の明日を語り合う場になりたいと思います。会員の皆さん、ぜひ参加してください!

「ダイアローグ」17日再び東京上映

井上朗子さんの「ダイアローグ1999」が十一月十七日、東京・渋谷の「アピア」で上映されます。三十一年間も続いている上映会「ハイロシネマフェスト」での上映が実現したのも、夜九時半開始のオールナイトで

す。アピア所在地の問い合わせなどは電話、03-3464-9590へ。

20世紀映画館開設

映画塾コムに新コーナー登場! 「にいがた二〇世紀映画館」という、新潟県内の映画館の百年を振り返り、読者とともに空白の歴史を埋めていくページです。ぜひご参加ください。特に中高年層の方大歓迎! 映画塾コムからアクセスを。

路上生活者の写真展

路上生活者の日常を追った写真展「米一合キヤラパンin新潟」が十一月十六日まで長岡市中央図書館二階美術センターで開かれます。

「が十一月二十三日から三十日まで新潟市八千代の総合福祉会館一階ロビーで、十二月十三日から十六日まで長岡市中央図書館二階美術センターで開かれます。

第1期映画塾から連続「転車」の三本コバさんの子供たちを見て講師を務めているコバさんの短編をまとめたこの作品は、昔も今も変わらない子供たちの弾けるような笑顔と、生きる力が素直に伝わってきます。

「阿賀に生きる」で撮り影を務めた小林さんは、この作品が監督第一作(三作?)となります。

直に伝わってきます。お問合わせは「阿賀に生きる」で撮り影を務めた小林さんは、電話025-243-15530へ。

24日「ごどものそら」

コバさん力作、ウインドで

直に伝わってきます。お問合わせは「阿賀に生きる」で撮り影を務めた小林さんは、電話025-243-15530へ。

三時、六時から小林さんと評論家・渡部実さんとの対談トークもあります。お問合わせは「阿賀に生きる」で撮り影を務めた小林さんは、電話025-243-15530へ。

シネパン2000

佐藤真監督 新作を上映

13日 牛腸茂雄さん(真)題材に

映画塾の定期上映会「シネパン2000」は十二月十三日(水)、映画監督佐藤真さんの新作「SELF AND OTHERS」の完成試写会を行います。加茂市出身の写真家、牛腸茂雄さんを題材にしたドキュメンタリー作品で、佐藤真さんのトークもあります。新潟市民芸術文化会館スタジオBで午後六時五十分と八時十分の二回上映します。

佐藤さんはドキュメンタリー映画「阿賀に生きる」で、新潟ではおなじみの映画作家。「SELF AND OTHERS」は、出来立てホヤホヤの作品で、十二月七日の東京でのプレミア上映に続き、いち早く新潟での上映が実現します。

牛腸茂雄さん「まなざし」の写真家と位置付ける佐藤さんは、評伝でも作家論でもなく「残された写真の『まなざし』に魅

き込まれて、ただジィッと眺めていたと考えた作品」(佐藤さん)です。

加茂市や都内各所など、牛腸さんゆかりの地を訪ね、残された草稿や手紙と写真をコラーージュすることで、牛腸さんが写真表現を通して追求してきたものを映画に取り込もうという試みです。

まなざしは言葉に出来ない。だから写真を撮る、という牛腸さんの世界

を、果たして佐藤さんは映画という別のまなざしに溶け込ませることが出来たのでしょうか。

撮影は、最近若手の青山真治監督と組み、「ユリイカ」などで斬新な映像を生み出した田村正毅さん、録音は諏訪敦彦監督、M/O/THERSの菊池信之さん、制作はユーロススペースです。料金は千円。お問い合わせは映画塾まで。

なお、一月の五十嵐匠

「絵屋」で写真展も!

「SELF AND OTHERS」上映会は、新潟の下町(しもまち)にある新感覚のギャラリ「新編絵屋」との共同企画です。絵屋で十二月十二日から二十日まで開く、牛腸茂雄写真展と連動し相乗効果を狙うとともに、「牛腸茂雄」という地元出身の写真家を広く知ってほしいという願いがあります。

牛腸さんは一九四六年加茂市生まれ。桑沢デザイン研究所写真科を卒業後、建築事務所などで働きながら、個展で写真を

〇一年となる来年からは「シネパン01(ゼロワゴン)」(仮名)として、新たなスタートを切りまこと二期のシネパンもご期待ください!

「絵屋」で写真展も!

発表。八三年心不全で死去後、九〇年代に写真評論家・飯沢耕太郎さんらが見直し、再評価の機運が高まっています。

絵屋での写真展では、D/O/THERSを中心とした作品を展示、販売します。午前十一時から午後六時まで開催(最終日は午後五時終了)。

なお、絵屋会員は上映会を八百円でご覧になれます。詳しくは新潟絵屋、電話025-222-6888まで。

BSN 随時担当に

毎週土曜のBSNラジオ「シネマ・プラネット」好評放送中。映画塾関係の情報は、当初の毎月最終週から随時担当になりました。午後九時二十五分から十五分の番組です。ご期待ください!



牛腸茂雄さん写真集「SELF AND OTHERS」より

にいがた映画塾
お問い合わせ等はこちらへ!

〒950-0086 新潟市花園2-3-2飛鳥ビル
電話・ファクス 025-248-9088
電子メール mail@n-eigajyuku.com
映画塾コム www.n-eigajyuku.com